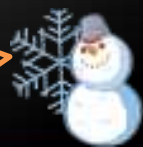


藤代高校だより 冬号

住所等

取手市毛有 6 4 0
Tel 0297-82-6283入学試験本番まで
あと少しです。受験生は
特に風邪に注意してね。

十二月七日(水)

紙面から

- 1 学校説明会を実施
写真部の活躍
- 2 中国の高校生と交流
- 3 沖縄修学旅行の報告
- 4 体育祭開催
部活動紹介



学校説明会を実施しました!

10月29日(土)、秋の学校説明会を実施しました。本公開は本校の入学を希望する中学生及び保護者を対象に行い、**多くの皆様の来場**をいただきました。

教職員一同、大変喜ばしく、身の引き締まる思いをしました。

本公開のアンケートの回答でいただいた、多くのご意見やご感想を、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。



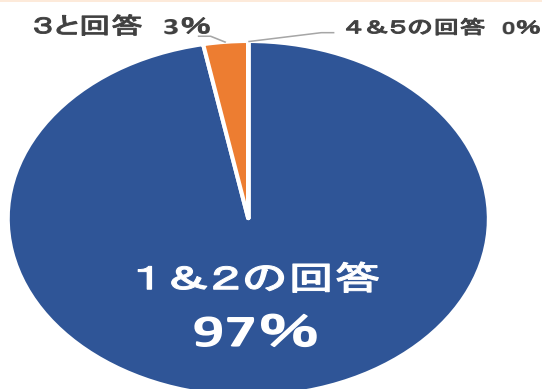
インラクティブフォーラム県教育
長賞を受賞した生徒たちが、本番
そのまゝに、英語でプレゼンテー
ションを行いました

アンケート結果より

本校で学びたい(学ばせたい)と思ひましたか?

以下の回答方法で実施

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 そう思った | 2 少し思った |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり思ひなかつた |
| 5 思ひなかつた | |



「本校で学びたい(学ばせたい)」97%
(内訳 思う 77% 少し思う 20%)と、肯定的な回答の割合はとても高いものでした。教職員一同、嬉しく思ひます。地域より一層信頼される学校になるよう努力を続けていきます。

ご意見・ご感想を抜粋して紹介します

中学生の声

- 明るく良い学校だと思ひた ●進学指導をしっかりとしてくれそうだ ●生徒たちが積極的、意欲的だ
- 文武両道の学校だと思ひ ●生徒たちが生き生きとしていて仲良く過ごしている姿が印象的だ
- 英語や国際交流(教育)に力を入れている ●行事が充実している ●藤高生になりたいと思ひた

中学生の保護者

- 文武両立を果たしている学校だと思ひ ●生徒の皆さんの挨拶を気持ちよく感じた ●英語に力を入れていることがわかり、子どもを入学させたいと思ひた
- 希望進路実現のための面談が充実しているようだ ●安全安心な高校生活が送れそうな学校という印象がある ●生徒たちは個々の目標をもち頑張っている

2年 上條 綾香
龍ヶ崎市立中根台中出身



朗報
本校写真部の生徒の作品
が関東地区展覧会に出品
タイトル
『私が見ている世界』

中国の高校生が本校を訪問しました

11 月 14 日(月)。中国江西省から、広西師範附属中学校と広西壮族自治区梧州市第一中学校の生徒(高 1, 高 2 の年齢) 28 名と第一中学の曾軍祥校長先生等が訪問しました。

その時の様子を紹介します。



① 到着～歓迎セレモニー(1 限目・2 限目)

9 時に到着。世話役の本校バディ生徒と対面しました。そして体育館で歓迎セレモニー。本校吹奏楽部の歓迎演奏と中国の高校生によるパフォーマンスを皆で楽しみました。



第一中学の曾軍祥校長先生と中国の高校生たち



中国の高校生の演舞

② ディスカッション(3 限目・4 限目)

中国高校生が 1 年生の各クラスに入りグループディスカッションを行いました。両国の生徒が将来の夢や今それぞれのはやっているものなどについて熱心に話し合いました。昼休みは仲良くお弁当を食べました。

③ 授業参加／茶道体験(5 限目)

中国の高校生が本校の通常授業を受けたり、茶道体験をしました。



日中の高校生のコミュニケーションの基本は英語です。そして通じにくい内容は相互にジェスチャーや筆談を用いて伝えました。心は必ず繋がります。



④ がま口財布作り体験(6 限目)

被服室でバディ生徒と一緒に縮緬の布で、がま口財布作りを行い、中国高校生への良いお土産になりました。



その後・・・

部活動の見学やお別れセレモニーの後、中国の高校生は、本校生といつまでも別れを惜しみながら帰っていきました。

中国の生徒たちは、日本において 9 日間滞在したそうです。「いろいろな見学等をしたが、藤代高校での交流が最も感動的な出来事だった」と彼らの多くが答えてくれたと報告を受けました。

日中両方の生徒たちにとって忘れられない一生の思い出になりました。

本校生徒のアンケートより

中国の高校生はみんな親切で、フレンドリーでした。ニュースで取り上げられている中国全般の印象とは全く違っていました。私は今日一日で中国の人たちが大好きになりました。

第 2 学年沖縄修学旅行 実り多き 3 泊 4 日間！



11 月 3 日(木)～6 日(日)の 3 泊 4 日。2 学年生徒は修学旅行で沖縄へ行って来ました。4 日間とも天候に恵まれ、南国の青空の下、実り多き旅行となりました。その様子の一部を紹介します。



平和学習

11 月 3 日(木)

平和学習では、沖縄戦の歴史を学び、戦争の悲惨さや苦しみに触れることができました。

●糸数壕での入壕体験

生徒たちは、戦争当時に沖縄の人々が実際に避難生活をしていたガマ(洞窟)に入りました。大きな衝撃とともに貴重な体験をしました。

ガマ入口(頭上注意)

入壕体験について説明を受けます



ひめゆりの塔

●ひめゆり平和祈念資料館

「ひめゆり」。沖縄師範学校女子部と県立第一高等女学校の生徒たち。戦火に巻き込まれ悲惨な運命を歩んだ彼女たちへの鎮魂の施設です。本校の生徒たちは献花を行いました。

クラスごとに献花・黙祷を捧げました。



●平和祈念公園・資料館

広大な敷地の中、生徒たちは各々のペースで施設を巡り、平和について考えを深めました。



平和の広場にて



厳かな雰囲気の中
思いを巡らす生徒たち

民泊体験

11 月 4 日(金)～5 日(土)

民泊では、沖縄・古宇利島などにおいておじいやおばあとの温かなふれあいを体験することができました。

たかが 1 日とはいえ、生徒たちは「島の子」として迎えてもらい、一緒に食事をし、島を巡り、民家ごとに異なった体験をさせていただきました。

離村式では、別れの寂しさに涙する生徒も少なくありませんでした。

別れの際、生徒たちは島の方々に、「行ってらっしゃい」と見送られました。

沖縄の言葉で、「ありがとうございました！」は「にふえーでーびる！」と言います。



民泊(離村式)の様子。生徒代表が感謝の意を示しました

マリンスポーツ体験

11 月 5 日(土)

恵まれた自然。生徒たちは、各々が体験したいマリンスポーツを十分満喫しました。

沖縄の海に生徒たちの歓声が響きました。



マリン体験
(ロケットボート)

カヌー体験(自然観察)



藤代高校の伝統行事・体育祭を実施しました！

10 月 26 日(水)。秋晴れの下、藤代高校伝統の体育祭が開催されました。1 組団から 6 組団まで団ごとに、生徒たちは鮮やかなはちまきを身に着け参加します。



今年度は 3 組黄緑団が優勝を果たしました。どの競技も手に汗握る熱戦で、

生徒の一生懸命な姿が感動を呼びました。



種目は借り物競争に始まり、男女混合二人三脚、棒引き、学年別対抗リレー、部活対抗リレー、男子騎馬戦、女子風船割り、綱引き、団対抗リレーといった代々受け継がれた競技を行い、最後は生徒全員によるフォークダンスで締めくくります。

このような**古き良き伝統的な体育祭**が毎年行われている学校はあまりありません。



体育委員、生徒会役員、運動部員の尽力があって、今年度も成功裏のうちに閉幕しました。充実した一日でした。



活発な部活動



今回は陸上部とバスケットボール部を紹介します



私たち陸上競技部は、顧問の小田先生のご指導のもと、全員が県大会出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。

練習中は、部員一同、集中し率先して、各々が今、何をすべきか絶えず考え、ベストを尽くします。

限られた時間の中ですが、0.1 秒でも速く走れるように少しでも遠く高く跳べるように努力しています。

また、県大会でも勝ち上がり関東大会に出場できるよう頑張りますので応援宜しくお願い致します。興味のある方は是非見学に来て下さい。

竹澤 里菜さん(2年)
(土浦市立土浦第三中学出身)



私たちバスケットボール部は男子 12 名女子 14 名マネージャー5名の計 31 名で先生方のご指導のもと毎日活動しています。

「良き選手の前に良き藤代高校生であれ」をモットーに、文武両道を目指し、勉強にも部活動にも藤代高校生の模範となるよう全力で取り組んでいます。現在は新人戦地区予選において男女優勝を目標に練習に励んでいます。高校からバスケットを始めた選手も複数おり、着実に力を付けています。部活動を通して学ぶことはとても多く、充実した高校生活を送る上でも欠かせないものとなっています。



野口 拓幹君(2年)
(取手市立藤代南中学出身)
織田 愛梨さん(2年)
(守谷市立けやき台中学出身)